



## 2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月13日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6630 URL <https://corporate.ya-man.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330  
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期第1四半期の連結業績(2019年5月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	5,450	△28.4	750	△66.5	649	△71.2	365	△74.3
2019年4月期第1四半期	7,616	24.9	2,242	36.0	2,254	38.6	1,423	35.7

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 357百万円 (△74.9%) 2019年4月期第1四半期 1,424百万円 (35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	6.53	—
2019年4月期第1四半期	24.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	16,762	13,082	78.0
2019年4月期	17,959	13,072	72.8

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 13,082百万円 2019年4月期 13,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	1.80	—	6.30	8.10
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	1.80	—	1.80	3.60

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年4月期期末配当金の内訳 普通配当1円80銭、特別配当4円50銭

### 3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,157	△7.1	2,893	△31.7	2,886	△32.3	1,826	△30.5	32.64
通期	27,595	1.3	5,840	2.4	5,827	2.0	3,686	4.2	65.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期1Q	58,348,880株	2019年4月期	58,348,880株
2020年4月期1Q	2,404,690株	2019年4月期	2,404,690株
2020年4月期1Q	55,944,190株	2019年4月期1Q	57,028,190株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2019年9月13日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調にあったものの、米中貿易摩擦などの不安定な国際情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、ヤーマンブランドの確立や新製品の研究開発など将来に備えるための投資に一定の経営資源を投下しながら、前連結会計年度の後半から続く海外顧客向け販売の減速への対応と、直販部門・店販部門を中心とした国内顧客向けの販売の強化に注力してまいりました。

国内顧客向けの販売は堅調だったものの、海外顧客向けの販売が半減する結果となったため、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,450百万円(前年同四半期比28.4%減)、経常利益は649百万円(前年同四半期比71.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は365百万円(前年同四半期比74.3%減)と前年同四半期を大きく下回りました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビ通販会社向けの販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売等を行っております。

ショッピング専門チャンネル向けの販売は伸び悩みましたが、地上波テレビ通販やカタログ通販向けの販売が売上を伸ばし、売上高は1,297百万円(前年同四半期比31.2%増)、セグメント利益は513百万円(前年同四半期比22.8%増)と前年同四半期を上回りました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

ここ数年で大きく伸長した免税店向け卸売事業が前連結会計年度後半から続くインバウンド需要の後退の影響を大きく受けたほか、大手家電量販店向け卸売事業も国内顧客向けの販売を大きく伸ばすには至らなかったため、売上高は1,931百万円(前年同四半期比40.2%減)、セグメント利益は643百万円(前年同四半期比57.5%減)と前年同四半期を下回りました。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

大きくコストをかける必要があるインフォーマーシャルや紙媒体広告などによる販売から、よりコストを抑制することができる当社直販サイトを中心としたWebによる販売に、徐々に重点を移していく計画でしたが、その過程で売上が落ち込んだことから、売上高は1,084百万円(前年同四半期比23.2%減)、セグメント利益は486百万円(前年同四半期比22.3%減)と前年同四半期を下回りました。

#### ④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

想定以上に売上が好調であった前年同四半期に対し、韓国向けの販売が大幅に減少したほか、中国向けの販売も前々年の水準に戻ったため、売上高は919百万円(前年同四半期比53.5%減)、セグメント利益は256百万円(前年同四半期比73.3%減)と前年同四半期を大きく下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,197百万円減少し、16,762百万円となりました。受取手形及び売掛金の減少667百万円、現金及び預金の減少273百万円、未収入金の減少203百万円、商品及び製品の増加201百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,207百万円減少し、3,680百万円となりました。未払法人税等の減少943百万円、未払金の減少238百万円、支払手形及び買掛金の減少190百万円、短期借入金の増加300百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、13,082百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上365百万円及び剰余金の配当352百万円による利益剰余金の増加13百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降においては、一定の利益水準を維持できる範囲内での成長投資を継続させながら、引き続き国内顧客向けの販売の強化と海外顧客向け販売の立て直しを図ってまいりたい所存です。

なお、2019年6月13日に公表した業績予想に変更はありませんが、今後修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,133,532	7,860,416
受取手形及び売掛金	3,394,343	2,726,737
商品及び製品	1,707,740	1,909,678
仕掛品	57,061	45,936
原材料及び貯蔵品	520,117	459,020
未収入金	1,203,864	999,991
未収還付法人税等	13,264	6,763
その他	534,095	384,350
貸倒引当金	△20,969	△20,362
流動資産合計	15,543,049	14,372,532
固定資産		
有形固定資産	614,412	623,052
無形固定資産		
のれん	742,411	699,580
その他	646,455	660,081
無形固定資産合計	1,388,867	1,359,661
投資その他の資産	413,451	406,811
固定資産合計	2,416,730	2,389,524
資産合計	17,959,780	16,762,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,414,620	1,224,342
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	296,886	229,000
未払金	1,170,642	931,929
未払法人税等	1,256,686	312,926
賞与引当金	66,079	34,780
返品調整引当金	107,323	82,291
その他	289,090	410,717
流動負債合計	4,601,329	3,525,987
固定負債		
長期借入金	274,357	143,350
その他	11,851	10,701
固定負債合計	286,208	154,051
負債合計	4,887,538	3,680,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,432,431	1,432,431
利益剰余金	12,144,592	12,157,645
自己株式	△2,314,246	△2,314,246
株主資本合計	13,076,574	13,089,627
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,331	△7,608
その他の包括利益累計額合計	△4,331	△7,608
純資産合計	13,072,242	13,082,018
負債純資産合計	17,959,780	16,762,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
売上高	7,616,358	5,450,607
売上原価	2,653,536	1,949,163
売上総利益	4,962,822	3,501,443
返品調整引当金戻入額	113,589	107,323
返品調整引当金繰入額	103,685	82,291
差引売上総利益	4,972,726	3,526,475
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,274,366	1,117,554
貸倒引当金繰入額	779	—
給料及び手当	226,164	298,234
賞与引当金繰入額	28,705	34,780
減価償却費	29,294	38,680
のれん償却額	—	42,831
研究開発費	55,553	63,300
その他	1,115,479	1,180,168
販売費及び一般管理費合計	2,730,343	2,775,550
営業利益	2,242,383	750,924
営業外収益		
受取利息	60	59
受取配当金	29	32
為替差益	16,205	—
その他	1,178	4,591
営業外収益合計	17,474	4,683
営業外費用		
支払利息	3,865	4,089
支払保証料	138	—
為替差損	—	100,615
売上割引	863	1,118
その他	388	181
営業外費用合計	5,255	106,005
経常利益	2,254,602	649,602
特別利益		
固定資産売却益	—	283
特別利益合計	—	283
特別損失		
固定資産除却損	742	755
特別損失合計	742	755
税金等調整前四半期純利益	2,253,859	649,129
法人税等	830,088	283,628
四半期純利益	1,423,770	365,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,423,770	365,501



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
四半期純利益	1,423,770	365,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	—
為替換算調整勘定	1,085	△7,608
その他の包括利益合計	850	△7,608
四半期包括利益	1,424,621	357,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,424,621	357,892
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	988,928	3,227,627	1,411,510	1,975,298	7,603,364	12,994	7,616,358	—	7,616,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	3,346	3,346	△3,346	—
計	988,928	3,227,627	1,411,510	1,975,298	7,603,364	16,340	7,619,705	△3,346	7,616,358
セグメント利益	418,208	1,514,950	625,188	959,313	3,517,661	4,430	3,522,091	△1,279,707	2,242,383

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,279,707千円には、セグメント間取引消去10,449千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,290,157千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,297,364	1,931,080	1,084,114	919,387	5,231,946	218,661	5,450,607	—	5,450,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	117	—	—	117	6,026	6,144	△6,144	—
計	1,297,364	1,931,197	1,084,114	919,387	5,232,064	224,687	5,456,752	△6,144	5,450,607
セグメント利益又は損失(△)	513,471	643,772	486,037	256,013	1,899,294	△43,552	1,855,741	△1,104,816	750,924

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門及び株式会社ディーフィットを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,104,816千円には、セグメント間取引消去10,410千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,115,226千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」の区分の著しい増加は、2018年8月31日付で取得した株式会社ディーフィットを連結の範囲に含めたことによるものです。